

2024/12/26 開催 いけんひろば

こども・若者が社会に参画し、意見を表明していると実感できるようになるには？

いけんのまとめ 対面回

1 班 ^{はん} (^{しょうがくせい} 小学生 ^{めい} 5 名)	2
2 班 (小学生 6 名)	6
3 班 (中学生・高校生世代 5 名)	10
4 班 (社会人世代 3 名)	16

2024/12/26 開催 いけんひろば

こども・若者が社会に参画し、意見を表明していると実感できるようになるには？

いけんのまとめ 対面回

【対面】1 班 (小学生 5 名)

1. みなさんが「意見を聴いてもらった」経験について教えてください。

- 総合や学活の時間で「どうしたら仲が深まるか」をテーマに考えた時に自分の意見が採用された。その時に「その意見いいね」と言ってもらえた。ちゃんと意見をきいてもらえている感じがした。
- 学校で「授業参観で調べ学習をしたい」と言ったら、先生が「いいね」と言って実際に調べ学習をやらせてくれた。
- こども政策に関することだと、学校ではそのような経験はない。でも、「いけんひろば」があることでこども政策について意見を言うことができたと感じる。
- 自分が指パッチンをしていたことを隣の席の友達にほめられた。その友達に「〇〇くんも自分の特技とかあるやろ？ サッカーとか？」ときいた時に「サッカーもそうだけど、色々話してくれてありがとう。」と言われた。自分の話をきいてもらえたと感じた。

2. みなさんが「意見を聴いてもらえなかった」経験について教えてください。

- 友達と一緒に学校から帰っている時に自分たちが1年生の頃の話になった。自分は1年2組だったが、友達から「1年2組じゃないよ」と強く言われた。翌朝学校で先生と話したが、先生から「何が嫌だったの」ときかれたので「強く言われたことと何回もそれを繰り返されたのが嫌だった」と先生に言った。先生と友達で話し合っ、最終的に友達が「ごめんね」と言ってくれた。

2024/12/26 開催 いけんひろば

こども・若者が社会に参画し、意見を表明していると実感できるようになるには？

いけんのまとめ 対面回

- 友達と遊んでいて「この遊びはどう？」と提案した時、ほとんどの友達が賛成していたが、1人が「嫌」と言っ
て勝手に遊び始めた。自分はそこに入らなかったが、他の遊びを勝手に始められてしまったことで「別の遊
びがしたかった。自分の意見がきいてもらえなかった。」と感じた。
- 学校で生徒に対する口調が強く、暴力的な言葉遣いをする先生がいる。自分も含め、みんなが「嫌だ」と
言っている。校長先生に1回注意を受けたようだが、一向に改善していなかった。先生は生徒と関わる
機会が多いため、先生の態度がきっかけで学校に行きたくなくなる生徒もいるかもしれない。その時に「○
○先生が嫌だ」という意見をきいてもらえなかったと感じた。校長先生に伝えて注意してもらったにもかかわらず
変わらず変わらなかったため、もうちょっと生徒の声をきいて欲しいと感じた。
- 学校であった話をしたい。Aさんと図工の班が一緒だった。図工の時間にくぎ打ちをしたが、それをしてい
る時にAさんは私に3回しかくぎ打ちをやらせてくれなかった。「なんでやらせてくれないの」と言っても知ら
んぷりされた。片付けの時に自分でくぎを抜くが、それも1回もやらせてくれなかった。先生が来た時だけ
自分に道具を返してきた。自分がくぎ打ちをしている時に無理やり道具を取られた。楽しい図工の時間が
台無しになってしまい、本当に嫌だった。
- 自分と友達が喧嘩した時、先生が友達の意見はきいたのに、自分が意見を言ったら「言い訳はいい」とさ
えざられ、きいてくれなかった。意見をきいてくれる時もあるが、きいてくれない時もある。
- 友達と遊んでいたとき、友達が「僕のボールがない」と言っていたので探したら、別の友達が持っていた。
「置いてあるものは取ってもいいんだよ」と言われ、自分の意見をききいれてもらえなかった。ボールは返して
もらったが、いきなり態度が変わったりして嫌な気持ちになった。

2024/12/26 開催 いけんひろば

こども・若者が社会に参画し、意見を表明していると実感できるようになるには？

いけんのまとめ 対面回

- 20代のお兄ちゃんがいる。そのお兄ちゃんにクリスマスプレゼントでゲーム機を買ってもらった。その後、お兄ちゃんから「貸して」と言われたので「今貸すよ」と言ったら「今日は用事があるからできない」と返ってきた。何で今日だとゲームできないんだろう、と考えていたら「今日は仕事だからできない。今度やろう。」と言われた。友達の家遊びに行っているのかと思ったが違った。

3. どういうふうにしてもらったら「意見を聴いてもらえている」と思いますか。

- 自分が言ったことに対して「いいね」と言ってもらえたり、アドバイスをしてくれたり、言った意見について何か考えて答えてもらえると「きいてもらえている」と思う。
- 「いけんひろば」では色々なこども政策について意見をきいていると思うが、そういう取組があること自体を広めるのにも限度があるため、学校の中で「いけんひろば」を実施したり、授業やアンケートなどで意見をきいたりしてもらえると色々な人の意見が集められると思う。また、学校で「先生についてどう思いますか」というアンケートがあれば学校生活が改善されると思う。
- ちゃんと人の目を見て話をきくことが一番大事だと思う。そうすれば、話している人は「ちゃんときいてもらえた」と感じる。他の人の話をちゃんときいてあげて、アドバイスをしても良い。人の話をちゃんときかないと、自分が何をしたらいいのか、何をしたかったのかが分からなくなる。相手に「いいね」と言ってもらえたら、話して良かったという気持ちになる。話しているときに相手が2人以上いると誰を見てよいか分からなくなるが、きき手は喋っている人のことをちゃんと見るのが大事だと思う。
- 相手が話している時に自分が相手の目を見るようにすると、相手もそうしてくれる。また、人の話をき

2024/12/26 開催 いけんひろば

こども・若者が社会に参画し、意見を表明していると実感できるようになるには？

いけんのまとめ 対面回

くときにはうなずくと良い。

- 話をしているときに相手が手遊びをしていると「意見をきいてもらえていないな」と感じる。話し手が「手遊びしないで」と言えると良いと思うが、なかなか難しい。「～について意見がある人はいますか」ときかれて意見を発表したときに、全部について「いいね」と言われるとちゃんとときかかっている感じがしない。自分の意見に対して「自分はこう思う」と言ってもらえるとちゃんときいてもらえた感じがする。
 - 自分の学校の先生は、生徒の話をきくときにボールペンを回したり、爪をいじったりしている。ちゃんと話をきいてもらえている感じがしない。
- 個人的には選挙の投票率が高くないことが気になる。高校などで「私はこう思っている」ということをアンケートなどで回答する機会が増えると選挙の投票率も上がると思う。
 - 選挙に行っている人の多くが高齢者である。自分の姉は選挙に行くのが夢だと言っている。高校1年生くらいから選挙に行けるようになれば良いのかもしれないと思う。
 - 投票所に行くというひと手間が面倒なのではないか。難しいかもしれないが、インターネットで投票ができれば良いのではないかとと思う。また、若い人が立候補しやすい環境を作ると若い人の投票率も上がるのではないかと。

以上

2024/12/26 開催 いけんひろば

こども・若者が社会に参画し、意見を表明していると実感できるようになるには？

いけんのまとめ 対面回

【対面】2班（小学生6名）

1. みなさんが「意見を聴いてもらった」経験について教えてください。

- ・ 転校したときに、家で使わない教科書や資料を学校に置いておける置き勉を提案して受け入れてもらった。
- ・ こども家庭庁の対面のいけんひろばで共感してもらえたときに意見をきいてもらえたと思った。
- ・ 学校の教頭先生に「自分の学校は運動会のみで発表会がないので、発表会を復活させてください」とお願いしたときに、意見をきいてもらえたと思った。発表会は復活しなかったが、開催していない理由を説明してもらえてわかりやすかった。
- ・ 友達の家で、自分たちが持っているゲームを友達の一人だけが持っていなかった。その人ができないので別のゲームで遊ぼうと提案したら、一緒に遊ぶ友達みんなが受け入れてくれた。
- ・ 担任の先生に、「友達から教室で嫌なことをされた。友達は私に謝ってほしい」と言った結果、先生が場を作ってくれて、友達に謝ってもらえて仲直りできた。
- ・ 学校で自分は悪くないけれど悪い人扱いをされたとき、先生に「気持ちをきかせて」と言われて話をしたら解決したことがある。
- ・ 自分の意見を言ったのに、先生が解決につなげてくれなかったときは、きいてはもらえているけどきくだけで終わってしまうと感じる。
- ・ 意見をきいてもらえるけど実行してくれない。
- ・ きいたことを本当にやってくれるか見ていないといけない。
- ・ きいた意見を実行してくれるかちゃんと見ていないと、本当は実行していないのに実行していると児童たちに言う「やってますやってます詐欺」になる。
- ・ 学校の先生にも、意見を受けて何かを直すと言っていても直さない先生もいる。
- ・ 意見をきいたとしても何かを実行してくれないと意見をきいたことにはならない。
- ・ ちゃんとした理由を言ってくれて自分たちが納得できると、意見をきいたことになると思う。
- ・ 納得できる理由を説明してくれるなら意見をきいたと言える。
- ・ 自分の小学校の学級会はクラス全員で意見をきいてまとめるものである。運営が小学生任せで、先生は決まったことを言うだけである。
- ・ 先生以外に、お母さんやおじいちゃんにも自分の話をきいてもらえる。学校の先生は途中でさえぎることがあるけど、お母さんやおじいちゃんは最後まできいてくれるし納得できることを言ってくれるから意見をきいてもらえると思う。
- ・ 友達も話をきいてくれる。気が合うから、自分と同じような悩みや疑問を友達も持っていることがある。

こども・若者が社会に参画し、意見を表明していると実感できるようになるには？

いけんのまとめ 対面回

2. みなさんが「意見を聴いてもらえなかった」経験について教えてください。

- 委員会活動に遅刻する人が多いので早めに活動場所に来るようにしようとして先生に提案したら「人によって給食を食べるスピードが違う」「宿題をやっている人もいます」と言われ、意見をきいてもらえずに泣いた。
- 先生に、宿題量が多いから減らしてほしいと言った。他の先生とも相談したらいいのに、話し合いはせず、「将来のためにならないから」「先生もこどものときに同じことを思ってたんだよ～」と言われてきいてもらえなかった。先生同士で話し合ってくれたなら意見をきいてもらえたと感じたと思う。
 - 自分たちの意見を却下する場合は、しっくりくる理由がほしい。
 - でも宿題は社会に入ったら役立つものもある。
 - 大人がこどもに義務教育を受けさせる義務がある。
- 親に自分の部屋にゲームを持っていったらいけないと言われた。「ゲームにはペアレンタルコントロールもついているのに何でダメなのか、勉強もするから持っていけるようにしてほしい」と言ったが納得いく理由がなく却下された。だから、生成 AI に「自分の部屋にゲームを持っていったらいけない理由とそれを論破するための文章」の回答を作ってもらった。自分でどうしようもできない理由を親に言われたら話をきいてもらえたと感じる。
- 先生と話しているとき、自分が話している途中で先生がアドバイスをしてしまって、話をきいてもらえないことがある。最後まで話をきいてもらえないときに意見をきいてもらえなかったと思う。
- 話しているときに気づかない人もいるから、身振り手振りで知らせる。
- ほぼ毎日、夜ごはんを食べているときに親が会社であったことを話す。自分も学校であったことを話したい。自分の話をしようとする、親が話を続けてきて自分が話せない。親に会社のことを話し終えたら言ってほしいと言ったが、自分の話をさせてもらえない。

3. どういうふうにしてもらったら「意見を聴いてもらえている」と思いますか。

- 意見をきいたあと、意見を反映できない理由を言ってもらえたら、意見を反映できなくても意見をきいてもらえていると思う。
- 各地に「意見を書いて入れてください」というご意見ボックスを置くと良いと思う。手紙だったら読んでもらえるから「きいてもらえる」と思えそう。
- きいてもらうだけでなく大人のコトも知りたい。意見交換サイトやチャットを使って最後まで意見をきいてもらったり、一緒に考えてもらえたりすると意見をきいてもらえていると思えそう。
- 外出しにくいお年寄りでも家から参加できるから、意見交換サイトは良いと思う。
- インターネットが使えない人には、意見を入れてもらうご意見ボックスは使えると思う。反対に、家からご意見ボックスまで遠い人は、チャットなどインターネットでの意見交換が適していると思う。
- 特定の宛先に手紙を送れば、担当者が全部意見を読むというものをつくれれば良い。
- 何かあったら意見を送れるということを知らせる CM を作り、公共放送の番組間に流したらいい。いけんひろばのように意見をきくことを実行している映像を流してくれたら、意見をきいてもらえていると思えそう。例えば駅を新しくしてほしいという意見をきいた後に、実際に新しくしたとわかるようなところも見せてほしい。

2024/12/26 開催 いけんひろば

子ども・若者が社会に参画し、意見を表明していると実感できるようになるには？

いけんのまとめ 対面回

- いけんひろばの様子をポスターなどで誰でも見えるようにしたら、意見を言ってみようかなと思えそう。いけんひろばのような意見を言える場があることをお知らせできたらいいと思う。
- こどもや若者がよく観る時間帯のテレビ番組で情報を流したらいい。
- こどもや若者が国に身近に意見を言えることを国民全員に伝わるようにお知らせするといい。
- いけんひろばに参加するまでに、新聞などでぶらすメンバーを募集しているのを見て、いけんひろばに応募して、参加が決まった後に交通を手配し、いけんひろばに参加して意見を言って、とすることがたくさんある。だから、いけんひろばは身近ではないと思う。チャットや特設サイトなど簡単に意見を言うことができる仕組みを作り、動画サイトや公共放送などで周知できたら身近だと思う。
- めっちゃ広いところでピクニックをしながらいけんひろばをする方が話しやすそう。
- ファシリもため口だと親近感があって良い。くだらない話をして OK な感じが良い。
- 話をする側があまり話さない場合には、話をきく側が先に話をして話がしやすいようにしてくれる方がいい。
- 親近感がある方が話しやすい。
- いけんひろばみたいな大人がいる場で意見を言うときに、ちゃんとしなきゃいけないと思うのはプレッシャーになるから親近感があった方が良くと思う。
- 自分の家に近いところでも意見を言える場があればいい。自分は九州に住んでいるが、北海道や東北などは遠くて行けない。どこに住んでいても近くで意見を言えるようにしたい。
- 同じテーマについて色々な地方で対面のいけんひろばを開催してほしい。
- 離島でも意見をきけるようになるといい。
- 学校など、こどもが目につくところにいけんぶらすのチラシをおけばいい。
 - それはいい。
- 大きなパネルに書き込む形式のいけんひろばができたら目立って良さそう。
- 学校の昇降口にもいけんひろばのチラシがあつたらいい。
- 大人でも意見をきいてもらえないときがある。大人も参加できる、いけんぶらすのような意見表明の場があつたらいいと思った。
- SNS は 10 代にも身近だから、発信などの SNS 戦略が重要だと思う。

〇いけんぶらすの結果フィードバック資料は見るか

- 自分が参加した回の資料は見るが、参加していない回は見ない。
- わざわざ見ない。
- 興味が湧かない。
- 自分が参加していないいけんひろばの結果を調べようとは思わない。
- ニュースやメールでフィードバックがあつたら見るかもしれない。
- 親のスマホへ通知が来ていけんひろばの結果が見られたら、自分の意見がどうなったかを見ると思う。
- インターネットで何かをきかれたら意見を返答できるようになるといい。
- 掲示板やチャットのようなものでこども家庭庁の人と直接話せたらいい。
- SNS を利用する人が増えているから SNS で意見交換ができたら広がると思う。

2024/12/26 開催 いけんひろば

こども・若者が社会に参画し、意見を表明していると実感できるようになるには？

いけんのまとめ 対面回

- キクミー、キクネーもいいが、人型のキャラクターもあるといい。アバターのようなものがあると話しやすい。
- 意見を実現させて、「こういう意見があったからこうしました」という写真や動画をニュースで流したら、意見をきいているということをみんながわかると思う。

以上

2024/12/26 開催 いけんひろば

こども・若者が社会に参画し、意見を表明していると実感できるようになるには？

いけんのまとめ 対面回

【対面】3 班（中学生・高校生世代 5 名）

1. 政策に関する「意見を聴いてもらっている」とはどんな状態ですか。

○意見とは何か

- 自己主張。
- 「こうしてほしい」という要望。
- 論理的思考。
- 改善してほしいこと。
- 自分の思っていることを相手に伝えること。
- 自分の考え。

○意見を伝えられる場所・時

- 各市町村の役所に設置されている意見箱を通して伝える。
- 学級で、ある取組について他の人から意見が挙がらないときに自分は意見を伝えるようにしている。
- 週 1 回くらい、学校で困りごと等に関するアンケートを実施している。
- 家庭内でルールを決めるときに自身の希望を伝えている。
- 学校の学活や総合の時間に、タブレット端末を使用してアンケートを実施している。

○伝えた意見は反映されていると思うか

- 役所が意見を募集して作成した案を見たときに、自分の言った意見が含まれていないと感ずることがある。伝わっていないかもしれない。
- 学級で出した意見は他に意見が出ていなければ採用されることもあるが、半分くらいは不採用になっていると感ずる。
- アンケートで「困っていることがある」と回答すると、先生と相談することになっているが、ほとんどの人は「困っていることはない」と回答している。また、困っていることがあったとしてもアンケートで書けない人もいると思うので、意見が反映されているという感ずはない。
- 家庭内では意見が反映されていると感ずる。
- 生徒が多いので、先生がアンケートに十分目を通すことができず、いじめがあってもそのままになっている。また、校則についても先生たちの意思が優先されているので、意見が反映されていると感ずない。

○「こども政策」と聴いて思いつくもの

- 子育て費用を一律 3 万円支払うもの。
- 大学への進学費用を援助するもの。
- 育休制度。

こども・若者が社会に参画し、意見を表明していると実感できるようになるには？

いけんのまとめ 対面回

- 給食費用の免除。
- 児童手当。
- 医療費の免除。入院時にかかる一部の費用を除いて低額になる。
- 自分が住んでいる地域でもこどもの医療費が助成されていたと記憶している。
- 通学費の補助。
- 高校生の授業料免除。

○政策について思うことや要望を伝えられる機会はあると感じるか

- アンケートなら伝えられると思う。
- ないと思う。
- 身近にはないと思う。
- 接点がないと感じる。

2. 「意見を聴いてもらえている」状態を実現するために国は何をしたほうがいいですか。これまでの説明を聴いて、こども政策に関して自身の意見を「聴いてもらえている」という人を増やすために、もっとしたほうがいいことはありますか。

○意見を聴いてもらえる状態にするためにどうしたらよいか

- 役所に意見箱を設置する。テレビなどのメディアを通じて意見を募集してもよいかもしれない。
- 政策決定の場にこどもも参加できる仕組みを作る。
- 「こども若者★いけんぶらす」のような取り組みを増やしてほしい。
- そもそも市役所や県庁に訪れないので、意見箱に投函する機会がない。
- 大人と違い、こどもには政治家への投票を通じて自分たちの意見を実現してもらうという手段がない。まずは、学校の意見を集約した生徒会長などの代表者が市区町村で政治について話し合い、同じように都道府県やエリアごとで意見を集約していき、最終的に全国のこどもの代表が政策に関わる人たちの前で話し合う仕組みにすれば、こどもの意見が届くかもしれない。
 - 各学校に意見を入力できる QR コードなどを配布できると良いかもしれない。
- 各公共施設や学校に、役所宛の意見箱を設置すると良いかもしれない。

○施策が実行されたら意見を聴いてもらえたことになるか

- 一部の人は意見をきいてもらえたと感じると思う。
- 小学校ではこどもの政策について分かりやすく教える授業を取り入れ、中学・高校ではこども政策について意見をきく授業を取り入れると良いと思う。

2024/12/26 開催 いけんひろば

こども・若者が社会に参画し、意見を表明していると実感できるようになるには？

いけんのまとめ 対面回

- 自分の住んでいる地域では直接知事に意見を伝えることができるものもある。都道府県や市町村の長と直接対話できる機会を設けたほうが良い。

○「意見を聴いてもらえている」と実感できるためには

- 自分の伝えた意見に対して答えが返ってきたり、政策に活かされていると確認できたりすれば、意見をきいてもらえたと感じると思う。
- 誰かに共感してもらう。
- 要望を伝えたら回答してもらえるというやり取りができる状態になる。
- 多数派の意見が実行されることが多いので、少数派の人たちの意見にもしっかり耳を傾ける。
- 知事に直接意見をきいてもらって、意見が一部取り入れられたときは実感できたかもしれない。

○「意見を言えた」、「返答があった」、「実行された」どの段階であれば意見を聴いてもらえたと感じるか

- 返答があるかどうかは重要かもしれない。例えば、進路のことについて意向を伝えたとしても、先生や親に反対されると何も言えなくなってしまう。
- 結果が出なくとも、意見をきいてきちんと向き合ってもらえれば、きいてもらえたと感じると思う。
- 最低でも返答は欲しい。ただ、意見をきかれても実行されなければ結局却下されたことになるので、理想としては実行まで移してほしい。
- アンケートなどは意見を伝えたらおしまいという感覚がある。返答があれば「検討してもらえた」と感じると思う。
- 実行してもらえないと何も変わらないので、しっかりと実行してほしい。

○こども若者の意見が聴かれた状態になるためにどうしたら良いか

- 日本の女性の国会議員を増やせば、育児などしやすい社会になると思う。
- 「こども若者★いけんぶらす」と同様の取組を各地で実施する。
 - 国が各自治体に予算を交付していると思う。
- こどもたちから意見をきく立場にある人たち（先生など）に向けて研修を実施する。
- 自分が住んでいる県では、知事が各市町村に出向いて意見をきくという取り組みがある。同じように総理大臣も各都道府県や市町村を訪問して意見をきくと良いと思う。
- そもそも「こども若者★いけんぶらす」を知るまでは、自分の意見を伝える機会がなかったため、国に意見を伝えられるという意識も持っていなかった。「こども若者★いけんぶらす」のような取り組みを自治体や学校単位でも増やし、みんなでどのようにすれば意見が伝えられるのかを検討していけると良いと思う。
- そもそも市が何やっているか全然知らない。
- 現在の国会議員には頭が固い人しかいない。現在の政治も外国にたくさんお金を支出する一方で日本国内の税金を増やしている。議員を減らしたほうが良いと思う。

2024/12/26 開催 いけんひろば

こども・若者が社会に参画し、意見を表明していると実感できるようになるには？

いけんのまとめ 対面回

- 海外に使うお金を減らし、日本国民に一律 10 万円支給したほうが良いと思う。

○政策に対して意見を持てるようにするためにはどうしたら良いか

- ・ 知ることが重要だと思う。
- ・ 授業の一環として、こども政策に関する教育する機会を作る。例えば、保育園などのこどもを預ける場所が少ないため困っている人があるなどの現在の課題に対して、どうしたら改善できるかをクラスで話し合う。
- ・ まずは自信をもって意見を伝えられることが重要だと思う。
- ・ 自分が住んでいる地域では、育休や休職が適用されていない。他の地域の取組を知る機会を作ることも重要だと思う。
- ・ 意見をきいて感じた／考えたことを上手く外に発信していくためにはどうしたらよいかを考える活動を行う。
- ・ こどもの意見が通った成功例がないと、「どうせ伝えても通らないなんだな」と思う。成功例を提示したほうが良いと思う。
- ・ 成功例がなくとも、まずはチャレンジしてみてもよいと思う。
- ・ 知らないとい何も意見を持ってないので、まずは知ることが最も大事だと思う。

○取組を知る機会として適切な場所

- ・ 県庁や市町村。
- ・ 「こども若者★いけんぷらす」のような取り組みを知らない人が多い。自分も母親から教えてもらった。学校や都道府県で周知すれば、様々な地域から参加する人が増えると思う。こども家庭庁が実施している取り組みを広げていけると良いと思う。
 - 自分は学校で配布されたチラシを見てこのいけんひろばに参加した。そのため、チラシなどを配布すれば、意見を言いたいと思っている人に関心を持ってもらえると思う。
 - 自分は駅のポスターを見たのがきっかけだった。
 - 自分は母親に教えてもらった。
 - 学校の Teams（学校内のオンライン掲示板）で知った。
- ・ 義務教育である小中学校で教えれば他の場所で周知するより広まると思う。

○意見を持つ（現状を知る）ために学校でどんな授業をすると良いか

- ・ 「こども政策とは何か」をみんなで考え、意見を共有し合う。
 - 意見を共有し合った後は、実際にこども政策に携わっている人に答えを教えてもらう。
- ・ 政策について思っていることをはっきり伝える。
- ・ 課題や問題点を出す。
- ・ こども家庭庁や先生など意見をききたい人が今ある課題の問題点（例：育児なら保育所が足りない）をいくつか提示して、みんなで考える。

2024/12/26 開催 いけんひろば

こども・若者が社会に参画し、意見を表明していると実感できるようになるには？

いけんのまとめ 対面回

- 出した後に、一つ身近なテーマに絞ってみんなで調べ学習すれば、政策について理解が深まり意見が持てるようになるかもしれない。
 - グループごとに違う政策を調べて発表し合えば、色々な政策について理解が深められると思う。
- 話をきいたり調べたりするだけではつまらないと感じる人もいるかもしれない。ゲーム性をもたせられるよう、班ごとにクイズなどを作ると良いかもしれない。
- お楽しみ会などの出し物の一環として、高学年の児童が低学年の児童にこども政策のことを教えれば、低学年の児童が高学年になったときより理解が深まった状態になると思う。
- 実際に政策を担当している市役所の職員などと対話する。
- 県庁や市役所を訪問・見学する。

○意見を政策に反映させていくために学校でどんな授業をすると良いか

- 都道府県知事や市町村の長に意見を伝える機会を作る。
- 学校の代表数名が各クラスの意見を収集・発信する。また、発信したことは全校生徒にも伝える。
- 総理大臣を学校に招待して意見を伝える。
- 国会議員や地元の議員を学校に招待して意見を伝える。
- 困りごとや解決したいことを話し合う場に自分たちも関与したい。
- 代表者が国会を訪ねて意見を伝える。
- 市議会や県議会に意見をきいてもらう。
- 参議院／衆議院議員の被選挙権を得られる年齢を下げ、こどもが政治家になれるようにする。
- 意見を伝える方法を授業などで考える。
- 人前で意見を伝えるのが難しい人もいるので、いきなり全校生徒が体育館などで集まって意見を出し合うのではなく、クラス単位で学級委員が意見を集約していった方が良いと思う。
- 修学旅行で国会や都道府県庁に訪問して意見を伝える。
- 班などのグループ単位で意見を共有し、他のメンバーから質問やフィードバックをもらって、意見の説得力が高まると思う。
- クラスの代表に意見を伝え、その意見を生徒会などで扱ってもらう。ただ、このやり方では意見がなかなか出ないこともある。
- 同じ意見を持つ人同士が集まって話し合う。

○意見を伝えられる状態にするためにはどうしたら良いか

- 気軽に話せる仲の良い友達同士で意見を出し、その中で学級委員長などをやりたがる子が意見を全体の場に伝えていく。
- 意見を言い合うことが当たり前になるような状態を作る。
- 自分の通っている学校に「実現ボックス」という意見箱がある。みんなの前で話すのが苦手な人も文章として意見を伝えられるので良いと思う。

2024/12/26 開催 いけんひろば

こども・若者が社会に参画し、意見を表明していると実感できるようになるには？

いけんのまとめ 対面回

- 確かに書面にすればみんなが意見を言いやすくなると思う。
- みんなの前で話せる人はそうしてもらい、みんなの前で伝えづらい人は書面で意見を伝えられるように選択できると良い。
- グループの人数が多くなると意見を言わない人も出てくるので、ペアになってお互いに意見を必ずようにすると良いかもしれない。
 - 確かに少人数のほうが話しやすい。
 - 「こども若者★いけんぷらす」のようなイメージである。

○既存の環境と新しい環境どちらが意見を言いやすいか

- 「こども若者★いけんぷらす」のような環境を増やしていくと良いと思う。
- 既存の環境で育ったこども若者の多くが意見をきいてもらえていないと感じているのであれば、新しい環境を作ったほうが良いと思う。新しい環境であれば、人間関係を気にすることなく気軽に意見を言える人もいると思う。

○その他

- 最終的に、こどもが選挙などこども政策以外のことにも関与できるようになりたい。今のこどもも将来大人になる以上、こども以外の政策にも関係してくる。

以上

【対面】4班（社会人世代3名）

1. 政策に関する「意見を聴いてもらえている」とはどんな状態ですか。

○政策に関する「意見を聴いてもらえている」とはどんな状態ですか。

- いけんひろばを全国津々浦々で開催してほしい。積極的に耳を傾けてくれることが伝わる。開催頻度を上げることに加え、首都圏以外の政令指定都市などでの開催があると良い。国会に小学生を招いて話をきく取組があったときいた。とても良い取組なので、年1回だけでなく、年数回に分けて定期的の実施したら良いと思う。国政を肌で身近に感じられて、こどものときに「意見をきいてくれる人が常にいる」と思える。
- 自分が思ったことが実現されたら「意見をきいてもらえている」と思える。言って良かったと思えるし、次も意見を言ってみようと思うきっかけにもなる。
- 国会議員が集まる場所、たとえば臨時国会にこどもや若者が参加してリアルな声を政治家に届けられると良い。仲介がなく、直接届けることで、受け取られやすいと思う。国会に限らず、県議会や市議会でも同様だと思う。
- そもそも「意見をきいてもらえている」はどこまでを指すのか気になる。たとえば、「意見を述べた」「参画した」ように単にきいてもらうだけで良いのか。他の参加者や、こども家庭庁がどこまでを指していると思っているのか知りたい。
 - 人それぞれ違い、色んな答えがあると思う。一概に決めなくて良いと思う。単にきいてもらえることで満たされる人もいれば、きいてから行動に移してほしい人もいる。あるいは、自分が実行したい人もいる。個人的には、自分が言った意見にある程度責任を持ちたいので、意見が実現したことを自分の目で見ないと気が済まない。意見を受け止めてくれる雰囲気を作ることが必要だと思う。
 - 個人的には、意見を反映されるかどうかは別として、きいてもらえることを指すと思う。

○人生を振り返って「意見を聴いてもらえなかった」体験や、「こんな意見聴取は最悪だ」と思うのはどのようなことですか。

- 小学生の頃は、理不尽なことや不条理なことをいう先生が多かった。小学4年生のとき、図工の授業で先生に木工ボンドを借りることがあった。先生は最後まで話をきかず第一声で「そんなこと言いなさんな」と言われた。言ったことをまともに受け止めてもらえないと感じた。また、小学生の頃は、給食を残してはいけないルールがあった。食べ終わらなければ、休み時間も残って食べていた。みんなの前で笑いものにされたことがある。食品アレルギーがあるかもしれないのに、その子だけを悪者あるいは笑いものにするのはどうなのかとやり方に疑問を持った。先生も人間であり、過ちはあるけれど、大人で絶対権力を持っている先生には歯向かうことができなかった。いま大人になってから振り返ると、当時の先生たちのやり方はおかしいと思う。
- 学生時代を振り返ると「意見をきいてもらえなかった」体験はたくさんある。自分は元から髪色が茶色いが、校則に従って髪を黒色に染めるように先生に言われた。自分は幼い頃の写真を見せて、何回も言ってやっと分かってもらった。ただ、1回言われただけで言い返せなくなってしまう人もいると思う。「意見をきいても

子ども・若者が社会に参画し、意見を表明していると実感できるようになるには？

いけんのまとめ 対面回

「えなかった」とは思うけど、そのことを正しくないとせば自分は言い返していた。テーマ説明資料にある「子ども政策に関して自分の意見がきいてもらえている」と思う人の割合において「わからない」という回答は、自分の意見がないあるいは考えるのが面倒くさいということだと思う。ひとつひとつ、たとえば学校のことでおかしいと思うことがあっても、良し悪しを分けるための材料が子ども若者にそもそも不足している。答えが分からず「わからない」に逃げている。「そう思う」という回答は、意見を言えてそれなりにきいてもらえている人で、「そう思わない」という回答は、言いたいことはあるけど言いづらい人や言う場がない人だと思う。

- 社会人になってから、話合いの場で男女の話になった。その場には、女性が3～4名いたが、男性が自分1名しかいなかった。そこで自分は大丈夫かと感じた。議論の流れを女性が作っていき、まとめでは意見が言えなかった。いけんひろばは場を設定してくれているが、場が悪いところでは明らかに意見をきいてもらえないと思い、無理だと拒否することがある。
- いけんひろばのような話合いの場に参加したときに、参加時から雰囲気が出来上がっている時は入りづらく、発言にも影響すると思う。そういう場合は、歓迎があったら入りやすいかもしれない。気を遣ってくれば乗っかるが、そうでないと発言しづらくなる。

○どんな環境で自分の意見が育まれると思いますか。反対に、育まれないのはどんな環境だと思いますか。

- 与えられた情報を入れるばかりで、外に出さないと合っているか分からず意見を言えなくなる。自分から発言して自分の意見を色々な人にきいてもらえたり、他の人の意見をきいたりする場があれば、普段関わる人以外と関わる機会が多いほど、自分の意見を伝えることの大切さが分かると思う。
- 自分は家族でも学校でもすぐに大人に相談するタイプだった。いわゆる「報連相」を身に付けていた。自分の意見をきいてもらえないことがなかった。子どもの意見をきかないということがあまりない環境だった。
- こどものころに掘下げる質問をたくさんされるときついだろうなと思う。質問されたときに催促されると、余計に「うーん」となって言えずじまいになってしまう。

2. 「意見を聴いてもらえている」状態を実現するために国は何をしたほうがいいですか。これまでの説明を聴いて、子ども政策に関して自身の意見を「聴いてもらえている」という人を増やすために、もっとしたほうがいいことはありますか。

- どこか知らない外国で日本のこどもに生活してもらう。言葉も常識も違うところでは、「当たり前」だと思っていたことがそうでないと気づけて新しいものを生み出せると思う。日本で生きていると「あしなさい、こうしなさい」があるが、自分がアメリカにて滞在していた時は毎日があり得ないことの連続だった。たとえば、ドライヤーが部屋にないことを何度も伝えても、ドライヤーがあるとはいわれた。ほかにも、部屋にアリがいたり、スーパーで商品を開栓して飲んでる人もいたりした。自分の中にある「こうしないといけない」があると人に求めそうになるものだが、他人に期待することをやめようと良い意味で初めて思えた。お金も勇気も要することで難しいとは思いますが、そういった機会に身を置くことはあまりないので、大切なことだと思う。たとえば、YouTube 配信をしたとしても、よっぽど面白そうでないと視聴しない。そうであれば、興味がある人に体験してもらうことが有効だと思う。

2024/12/26 開催 いけんひろば

こども・若者が社会に参画し、意見を表明していると実感できるようになるには？

いけんのまとめ 対面回

- 大学生のころにカナダに行き、カルチャーショックがあった。社会に出る前に海外に出ることで、視点を変えたり、想像力を育んだりできる。若ければ若いほど多い方が良いと思う。
 - 国内でも同じようなことはできないか。
 - 国内留学もあるので、海外に限ることはないかもしれない。
- 「話してよい人がいる」ことを伝えることが大切だと思う。
 - こどもの頃に、社会の話をする機会はあまりなかった。年上の人と話す機会はあった。現在、20 歳程度年齢が離れたこどもと話す機会はない。保護者と一緒に参加してもらい、一緒に意見をきくような機会があるとよいかも。
- 自分の意見を出し切り、汲み取ってもらえたという実感がない背景には、そこに至るまでの経緯において情報量が少ないことがあると思う。現在の小学生はスマートフォンが当たり前にあるが、話をきいてもらえる機会があるということを、教育機関で先生から啓発するべきだと思う。話をきいてもらえる場があることをまず分かっていないのではないかと思う。

○「あなたも社会の一員だから大事」といったフレーズを目にしたことはありますか。

- こどもの頃は、大人が絶対的権力で、こどもの声をききたいということは垣間見えなかった。チラシを目にしたことはある。
- ポスターは目にしたことがある。
- 目にしたことがない。

○学校というコミュニティがなくなる、既卒世代の声の反映という視点から、「意見を聴いてもらっている」状態を実現するために国は何をしたほうが良いと思いますか。

- こども家庭庁主催のアンケートにこどもに節目で回答してもらうことも有効だと思う。
- 保健室のように何でも話して良いところがあればよい。カウンセラーだと「自分はそこまで悩んでいない」と思うので、たとえば友達に話しづらいような話をきいてくれる、地域のおじいちゃん・おばあちゃんや大学生がいてくれたら良い。「ごはんがおいしいよね」とかそんな話もできたら良い。学校の先生に対しては、「評価されるのではないか」と思う。
- カウンセラーのように相談できる人はなかなかいないので、友達、居酒屋で隣に座った人、SNS のコミュニティ、匿名でおしゃべりできるツールがあると思う。無料の場としては、公民館の憩いの場や、コンバーセッションセンターなどがある。自分が現在通学している市民大学もそれにあたると思う。
- オンラインか対面かなら、対面が良い。
 - オンラインと対面、どちらでもよい。
 - オンラインと対面、どちらでもよい。感染症のリスクを考えると、対面だけでなくオンラインもできると良い。

2024/12/26 開催 いけんひろば

子ども・若者が社会に参画し、意見を表明していると実感できるようになるには？

いけんのまとめ 対面回

○そもそもなぜ子どもの意見を聴かないといけないと思いますか。意見を聴かず、権力者に管理された社会は何が問題ですか。

- 管理された社会は楽しくない。自分が権力を持つ側になったとして、みんな違う存在なので、自分通りにみんなが動いてくれてもあまり楽しくない。
- 民主主義社会なので、独裁者は反社会的なもの。管理したいという気持ちも分かる。
- 「正しい」と思っていることが正しいか分からない。たとえば、おとなが「正しい」と思っていることが正しいとは限らない。「そうじゃない」と思っている子どもにこそ、社会や価値観を変えてほしい。
- いまは管理ができているのか疑問に思った。

以上